

第6学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動										
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語		評価規準									
1 学期	4 月	想像を豊かにして「語り」をしよう	風切るつばさ 図書館へ行こう	・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をする。	4		○				○	○	【関】「語り」に興味を持って取り組もうとしている。 【読】作品から読み取ったことや自分が感じたことが表れるように工夫して「語り」をしている。 【言】語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもっている。	物語を読んで感じたことや考えたことが分かるように「語り」をする。☆								
			表現を工夫して書こう	・いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。	3		○			○				【関】表現技法の効果を理解し、表現を工夫して詩を書こうとしている。 【書】比喩法、反復法、倒置法などを効果的に使って詩を書いている。	経験したこと、想像したことなどをもとに、詩をつくる。B(2)ア							
			熟語の構成を考えよう 漢字の練習	・三字以上の熟語の構成を理解する。	2		○					○		【関】三字以上の熟語に関心をもち、構成について知ろうとしている。 【言】三字以上の熟語の構成について知り、熟語の意味を考えている。								
	4 月	自分の考えを明確にしながらか読もう	イースター島にはなぜ森林がないのか	・筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。 《単元の評価規準》 【関】題名に興味をもって読み、進んで感想や筆者の主張に対する意見を出そうとしている。 【読】 ・事実と意見を区別して、自分の考えを明確にしながらか筆者の主張を読み取っている。 ・筆者の主張に対する自分の考えをまとめ、交流している。 【言】文章にはいろいろな構成があることを理解している。	5		○					○	○	題名に興味をもち、進んで教材文を読もうとしている。	筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えをまとめ発表し合う。☆							
																					接続語や内容のまとまりに注意して、課題提示文に対応する情報を読み取っている。	
																					【読】事実と意見を区別しながら情報を正しく読み取っている。 【言】文章には、いろいろな構成があることを理解している。	
					10								自分の考えを明確にしながらか筆者の主張を読み取っている。									
			学校のよさを宣伝しよう	・根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。	3		○	○					【関】学校の良さが伝わるように話そうとしている。 【話聞】具体例やキャッチフレーズを入れたり、物事の新しい見方を示したりするなど、工夫して話している。	事物を推薦したり、それを聞いたりする。A(2)ウ								

5月		動詞にそえて使う 言葉に目を向けよう 漢字の練習	・いろいろな補助動詞があることを知り、それぞれの働きや意味を理解する。	2						○	【関】補助動詞の働きや使い方に興味をもとうとしている。 【言】補助動詞の働きや意味について理解している。		
	物語が強く語りかけてきたことを考えながら読もう	ばらの谷	・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。 《単元の評価規準》 【関】物語に興味を持ち、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読み、自分の言葉でまとめようとしている。 【読】 ・自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。 ・場面の構成をとらえ、中心人物の変容を手がかりに、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをとらえている。	6	11	○						既習の物語を通読して、物語の構成や人物の相互関係や心情を手がかりに、主題を読み取ろうとしている。	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。☆ 物語が自分に最もかたりかけてきたことを短い言葉で表し、その理由を200字程度でまとめる。
										○	「設定」「展開」「山場」「結末」の四つの部分に分けて物語の構成をとらえている。		
										○	「時」や「場」、「人物」のしたことなどに気をつけてあらすじをまとめている。		
										○	叙述を手がかりに、中心人物の考えや心情の変化をよみとっている。		
										○	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを自分の言葉で短く書き表している。		
					○	中心人物の人物像をとらえ、心情が伝わるように音読している。							
6月		意見を聞き分けよう	・複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。	3		○				○	【関】複数の意見を整理しながら聞こうとしている。 【話聞】複数の意見を聞き、共通点や相違点を聞き分けている。	複数の意見の似ている所や違うところを聞き分ける。☆	
		日本の文字に関心を持とう 漢字の練習	・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。	2		○				○	【関】日本の文字に関心をもち、仮名の成り立ちや日本語の表記について知ろうとしている。 【言】仮名の由来や日本語の表記について理解している。		
		新聞の投書を読み比べよう	・読み手を説得するための工夫を読み取る。	6		○				○	【関】投書の特徴をとらえ、進んで書き手の主張や説得の工夫を読み取ろうとしている。 【読】理由付けの仕方や根拠の挙げ方をとらえ、書き手の意見について自分はどうのように考えるか意識しながら読んでいる。	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む。C(2)ウ	

7月	書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう	「わたしの意見」を書こう	・書く事柄を整理し、構成を考えて、意見文を書く。	7	17	○	○	○	○	○	【関】自分の意見を明確にもって、説得力のある意見文を書こうとしている。 【書】書く事柄を整理して構成を考え、具体例や根拠を挙げて説得力のある意見文を書いている。	自分の課題について調べ、意見を記述した文章を書く。B(2)イ	
		漢文を読んでみよう	・漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。	3		○	○	○	○	○	【関】漢文の言葉の響きやリズムに関心をもち、味わおうとしている。 【言】漢文の内容の大体を把握し、楽しみながら音読している。		
		本は友達	・多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。	1		○	○	○	○	○	○	【関】自分の興味にあった本を探して読むようとしている。 【読】読書案内や図書紹介を利用し、自分が読みたい本を選んで読んでいる。	複数の本を読み、読書の範囲を広げる。☆
9月	詩と短歌を味わおう	いま始まる新しい短歌	・情景や心情を思いうかべながら、詩や短歌を声に出して読み味わう。	2	12	○	○	○	○	○	【関】情景や心情を想像しながら、詩や短歌を味わおうとしている。 【読】情景や心情を思いうかべながら詩や短歌を声に出して読み、言葉の響きやリズムを味わっている。	情景や心情を思い浮かべながら朗読する。☆	
		問題を解決するために話し合おう	・自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。	5		○	○	○	○	○	○	【関】問題を解決するために協力して話し合おうとしている。 【話聞】自分の意見を明確にし、相手の意図を考えながら、計画的に話し合いを進めている。	自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。☆
		資料を活用して書こう 漢字の練習	・資料を効果的に使って文章を書く。	5		○	○	○	○	○	○	○	【関】資料を効果的に活用して文章を書こうとしている。 【書】目的に応じて適切な資料を選び、効果的に活用して文章を書いている。
	人物の生き方を考えながら読もう	海のいのち	・物語に出てくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。 ≪単元の評価規準≫ 【関】物語に興味をもち、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとしている。 【読】場面構成や人物の	11		○					物語に興味をもち、物語の内容をとらえて、印象に残ったことをまとめようとしている。	登場人物の関係をおさえ、それぞれの人物の人物像や心情をとらえる。☆	
											○	どの場面にだれが出てきてきているかを、全文から読み取って出現表にまとめている。	

10月

	<p>関係を手がかりに、中心人物の変化を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめている。 【言】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p>		17	○	場面分けの仕方を理解し、「設定」「展開」「山場」「結末」の4つの部分をとらえてえている。	
				○	太一の父への思いと太一の父の生き方を読み取り、図にまとめている。	
				○	与吉じいさの生き方や海に対する考え方、太一の成長を読み取り、図にまとめている。	
				○ ○	【言】比喩の表現に気付いている。 【読】太一の追い求めている「夢」の内容を読み取っている。	
				○	瀬の主に出会ってからの太一の心情をつかみ、太一の変化を読み取っている。	
				○	瀬の主と別れた後の太一の生き方を読み取っている。	
				○	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、理由を挙げながら表現している。	
子ども句会を開こう	・表現を工夫して、俳句や短歌を作る。	4		○ ○	【関】感じたことや発見したことをもとに俳句や短歌を作ろうとしている。 【書】言葉を選んだりや表現を工夫したりして俳句や短歌を作り、お互いの作品の良さを伝え合っている。	経験したこと、想像したことなどを基に、短歌、俳句をつくる。B(2)ア
言葉の由来に関心を持つ 漢字の練習	・和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。	2		○ ○	【関】言葉の由来に関心をもち、知ろうとしている。 【言】和語・漢語・外来語について理解している。	

1 1 月	「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう	未来へ生かす自然のエネルギー漢字の練習	・資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。	9	9	○				○	○	【関】エネルギー問題に関心を持ち、必要な情報を得るために進んで複数の資料で調べようとしている。 【読】資料や具体例の示し方に注意しながら、筆者の意見を読み取っている。 【言】文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。	調べて分かったことを整理して、資料の示し方や具体例の上げ方を工夫してリーフレットにまとめる。☆
	資料を使って説明しよう	深めよう、言葉の世界	・資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。	8	10	○	○					【関】グループで調べたことを一人で発表するという活動に意欲的に取り組もうとしている。 【話聞】資料を効果的に使って、聞き手の反応を確かめながら分かりやすく説明している。	資料を提示しながら説明をしたり、それを聞いて助言や提案をしたりする。A(2)ア
1 2 月		言葉は変わる漢字の練習	・言葉は時代とともに変化したり、世代によって異なったりすることについて知る。	2			○					○	【関】言葉の変化に興味をもって知ろうとしている。 【言】言葉が時代とともに変化したり、世代によって使う言葉が異なることがあったりすることを理解している。
	戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう	ヒロシマのうた	・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 《単元の評価規準》 【関】人間の生き方がえがかれた本を進んで読み、友だちにテーマにそったブックトークをしようとしている。 【読】 ・登場人物の関係をふまえて、人物像や心情を読み取っている。 ・物語を読んで考えたことや、戦争と人間について考えたことを話し合い、自分の考えを広げている。 ・人間の生き方についての本を複数選び、比べて	6	6	○					○	単元の学習のねらいを知り、学習の見通しをもって、ブックトークに意欲をもとうとしている。 物語の内容を大まかにとらえ、印象に残る場面や言葉について考えている。 物語を読んで、シャツに原子雲の刺繍をしたヒロ子の思いやヒロ子の生き方や考えたことを話し合い、自分の考えを広げている。 自分が感じたことが聞き手に伝わるような工夫を入れた準備カードにまとめている。 テーマにそって自分が考えたことがよく伝わるようにブックトークを行っている。	関連するテーマの他の本を読む。 ☆ 一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げ、ブックトークを行う。

